## 日本卓球選手権・バンビの部で松戸市在住の

## 野間 瑶子(ヨウコ)さん 大活躍

平成28年10月

日本卓球協会主催の大会の内小学生を対象にしたものが学年別に、ホープス、カブ、バンビの3段階がある。 そのうち小学2年生以下がバンビの部で、このクラスに大活躍している松戸市在住の女の子がいる。

野間 瑶子さんで、現在松戸市上本郷小学校2年生です。

本年5月に行われた全農杯全日本卓球選手権・バンビの部の千葉県予選会では、先に2ゲームを先取される絶対絶命のピンチから「絶対に負けない」との気持ちで、持ち前の粘り強さを発揮しこれを逆転し、見事優勝。本大会への千葉県代表の2名の切符を勝ち取りました。幼稚園から卓球を始め、わずか2年程で全国の舞台に躍り出るという快挙だ。

7月末に行われた本戦では、無念ながら予選突破は 惜しくも逃しましたが、これで終わったわけではありません。

次に8月に行われた第21回バンビの部関東ホープス 卓球大会の千葉県予選会では危なげなく完勝で優勝。 10月15・16日ひたちなか市で行われた本戦では、



予選リーグを全勝で突破、決勝トーナメントでは準々決勝まで進みここで惜敗。 ベスト8という結果に、お母さんは「よくここまで健闘できた」とホッとしたご様子。 これでバンビの部は卒業で、来年からはカブの部(3、4年生)の出場になる。 より一層の活躍が楽しみだ。

彼女の母親・野間 範子さんは、ジュニア時代に全国制覇をし日本代表として世界大会で活躍した方。 社会人になってからも目を見張るすばらしい実績を重ね、「松戸に野間あり」と卓球界では有名人。 又 祖母・大場 淑子さんは、当協会の副会長を務め特にレディース卓球の発展に尽力されておられ、更には 卓球コーチとしても日々活動されている。 卓球一家である日本女子代表の福原 愛選手や石川 佳純選手と 実に境遇が似ている。

「福原愛選手のようになりたい」と語っているようで、当選手のように大成されることを是非期待したい。

